

人間科学科について知りたい方のための

フリーペーパー『らいふみる』

2021年6月12日発行

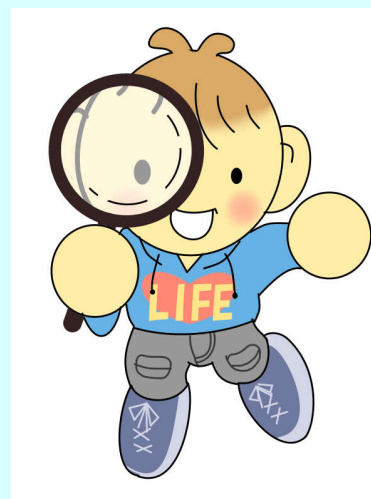
【人間科学科はこんな方にオススメ】

人間科学科は広く「人間」に関わる事象について科学的に学ぶことのできる学科となっていますが、特に次のような方にオススメです。

第一に、人間科学科では「人間」に対して科学的に（心理学・社会学・身体科学・情報学の観点から）アプローチします。そのため、身近な人びとや異なる文化・価値観をもつ人びとの生活や人生に関心を抱かれている方にオススメです。

第二に、人間科学科では心理学的・身体科学的な実験や社会学的な調査を行うことを通して「人間」に対してアプローチします。そのため、「人間」の心理・身体・社会を理解するための実験や調査を自分でも行ってみたいという方にオススメです。

第三に、人間科学科では「人間」が作りだした社会のさまざまな現象に対してアプローチします。そのため、家族・学校・職場・地域などで生じる問題や文化・環境・メディアなどのあり方について深く考えてみたいという方にオススメです。



学科キャラクター『らいふみる』くん

【人間科学科によくある質問】

【大正大学には心理学を学べる学科がほかにもあるようですが、どのような違いがありますか？】

心理学という学問分野にはさまざまな領域があるため、同じように心理学を学べる他大学や他学科と人間科学科では授業内容や取得できる資格が異なります。人間科学科では特に、「人間」の「Life（生活・生命・人生）」をテーマとして心理学の授業がつくられています。具体的にどのようなことを学ぶことができるのか、そしてそれは他大学・他学科での学びとどのように異なっているのかについては、次のページに記されている人間科学科のシラバスを見ていただきたいと思います。また、人間科学科で取得できる資格については『らいふみる』の第1号で解説しています。

【大正大学には社会学を学べる学科がほかにもあるようですが、どのような違いがありますか？】

心理学同様、社会学も幅広い領域を持つ学問分野であるため、同じように社会学やより広く社会について学べる他大学や他学科と人間科学科では授業内容や取得できる資格が異なります。人間科学科は特に、「人間」の「Life（生活・生命・人生）」をテーマに社会学・心理学・身体科学、そして情報学の一部も同時に学ぶことができる点や必要な単位を修得すれば社会学系の資格と心理学系の資格をどちらも取得することができる点などが特徴的であると言えます。社会学の理論や社会調査関連の科目も充実しており、他学科よりも深く社会学を学ぶことができます。

【私は社会／数学が苦手なのですが、人間科学科の授業についていけますか？】

人間科学科には社会について取り上げる授業が複数ありますが、中学校や高等学校の社会科・地理歴史科・公民科のように暗記することが中心となるような授業はありません。そのため、社会に対する関心を持っていれば、社会が苦手な方でも面白さを感じながら授業に参加することができます。また、人間科学科には統計について取り上げる授業が複数ありますので、数学が得意な方はその強みを発揮することができますが、数学が苦手な方にも分かるようにカリキュラムがつくられています。そのため、4年間の学びを通して統計的なものの見方や考え方を身につけることができます。

【今後人間科学科について質問がある場合は、どうすればよいのですか？】

下記の連絡先（大学代表）にお電話いただき、まずは「大正大学アドミッションセンター」の担当者に質問してください。また、もし学科に直接質問をしたいという場合は、電話でそのようなお申し出ください。

＊ 連絡先電話番号：03-3918-7311（大学代表） 平日 9:00-18:00（夏期休業期間等は9:00-17:00）

＊ 今後新型コロナウイルス感染症の影響で受付時間が変更となる場合がございますので、大学HPでご確認ください。

【人間科学科のシラバスを検索してみよう】

一人間科学科ではどのような授業が行われているのでしょうか？

大学の授業の内容を詳しく理解するうえで役立つのが、授業計画を示したシラバスという資料です。学生は履修する授業の選択や毎回の授業の予習復習のためにシラバスを活用しています。大正大学では受験生もシラバスに記載された情報をすべてみる事ができます。その方法を解説します。

大正大学ポータルサイトT-Poにアクセスし、「ゲストユーザー」をクリックすると誰でも機能の一部を利用できます。「ゲストユーザー」をクリックした後、「シラバス照会」をクリックすると、左下の図のようにシラバス検索画面が表示されます。

（大正大学ポータルサイトT-Po: <https://t-po.tais.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>）

＊携帯電話やスマートフォンからアクセスすると「ゲストユーザー」が表示されない場合がありますのでご注意ください。

シラバスの検索を試みましょう。例えば、科目名称の欄に「家族の社会学」といって「検索」をクリックすると検索結果が表示されますので、そこに記されている授業名をクリックすると、この授業のシラバスが表示されます。

シラバスをみる事ができたら、「授業のテーマ」や「授業の目的」、各回の授業の詳細をチェックしましょう。人間科学科の専門部門の講義科目である「人間発達科目群（A群）」と「現代社会科目群（B群）」の一覧を次のページに掲載しました。気になる授業のテーマについて確認し、興味をもった授業についてはぜひシラバスを閲覧してみてください。

【授業紹介：感情心理学】

おそらく誰もが経験し、知っているものの、説明したり整理したりするのは意外と難しい。感情については、そんなイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。「感情心理学」では、この難題に心理学が挑んできた経緯を振り返りながら、その足掛かりを整理していくことを大きな目標にしています。折々、教室でも可能なデモ等も使いながら進めています。たとえば、そのときのポジティブ感情とネガティブ感情の強度の測定があります。この質問紙の背景には、実は、感情のとらえ方に関する先人のアイデアが潜んでいます。別の言い方をすると、これとは異なる考え方を足掛かりにすることで、感情の異なる側面にスポットがあたった別の測定方法ができあがります。感情のとらえ方が様々あるのは、それだけ感情が多面的な現象であることの裏返しとも言えます。既存の考えや研究をもとに、感情現象をとらえる実践的方法を理解しつつ、その問題点や発展形について意見交換しあうことも重視しています。

【授業紹介：現代社会論】

みなさんは、憲法など法律の内容を細かに頭に入れていますか。おそらく、多くの人はそうではないでしょう。にもかかわらず、それほど不自由なく生活できているような状況は、それはそれで法によって成り立っている社会の秩序と言えます。もし、法律のことが気になって仕方がないという社会だったら、それはあまり健全ではないかも？しかし、そうした社会秩序がひっくり返るようなことは世界史上にありました。いや、今日でも、たとえば差別的な境遇のなかで法に守られていない人々もいます。現代社会論の授業は、このような法律、特に憲法や人権によって成り立つ秩序が、どういうときに壊れてしまうのかということをテーマにしており、毎回関連するトピックごとに学修することができます。たとえば、移民、難民、暴力、紛争、AI（人口知能）、SNSの誹謗中傷、等々。SNSの誹謗中傷はどうやって生じるの？日本で人権侵害を伴うような残虐な暴力なんてない？ある？「秩序が壊れる」、実は身近なテーマなのかも…。

【人間科学科の講義系授業：人間発達科目群（A群）と現代社会科目群（B群）】

人間科学科の専門部門の講義科目は、「人間発達科目群（A群）」と「現代社会科目群（B群）」という2つの科目群に分かれています。それぞれの科目群内の授業の科目名・担当者・テーマは下記の通りとなっています。

・人間発達科目群（A群）

科目名	担当者	テーマ
生命科学	石 龍徳	生命とは何か、ヒトとは何かを生命科学の視点から考える。
身体活動の科学	内田 英二	運動や身体活動による身体の変化について
発育発達と運動	内田 英二	現代社会における子どもおよび中高年者の発育発達の状況と運動の関連について
脳と心	荒生 弘史	人間の心の働きを、生理過程との対応関係から理解する。
基礎心理学	望月 芳子	人間の心の働きを、生理過程との対応関係から理解する。
心の認知科学	井関 龍太	記憶や思考などの人間の認知メカニズムについて学ぶことを通し、実証的な考え方を身につける
認知社会心理学	井関 龍太	社会的情報や対人相互作用における人間の認知メカニズムについて学ぶことを通して実証的な考え方を身につける
感情心理学	荒生 弘史	感情の働きと人間行動の関係について理解する。
生涯発達心理学	長谷川 智子	受胎から死に至るまでの発達心理学
親と子の発達心理学	長谷川 智子	現代社会における親と子に関する諸問題・課題について考える
生と死の社会学	木村 豊	現代社会を生きる「個人」の〈生〉と〈死〉について考える
ライフコース論	澤口 恵一	現代社会における人生の変化と社会変動との関係を理解する
健康心理学	塚田 知香	ストレスの基礎知識とセルフケア
人間発達特講A (老いの社会学)	天田 城介	「ポスト経済成長時代」とでも呼びうる現代における「少子高齢化／人口減少社会」において立ち現れている諸問題・諸現象を「臨床社会学」の視点から読み解く。
人間発達特講B (青年期とアイデンティティ)	天野 陽一	青年期とはどのような時期なのか実証研究の知見をもとに考え、人間の発達についての理解を深める。

・現代社会科目群（B群）

科目名	担当者	テーマ
社会心理学	谷田 林士	社会的環境への適応という観点から私たちのこころの働きを理解する
コミュニケーションの心理学	谷田 林士	対人技法を習得しながら、コミュニケーション能力を向上させる
ジェンダー論	田中 俊之	現代日本社会におけるジェンダーをめぐる問題を考える。
現代社会論	河合 恭平	社会秩序はいかなるときに崩壊に向かうのか
家族の社会学	澤口 恵一	家族とは何か、家族という集団の現代的課題の特質について考える
生活環境の社会学	荒川 康	人間の暮らしと環境問題
都市と地域の社会学	荒川 康	日本の都市と地域の今を考える
職場の社会学	井出 裕久	日本の会社で働く
仕事の社会学	井出 裕久	「働き方の多様化」と働くことの意味
文化の社会学	木村 豊	多様な文化と共に生きる社会について考える
情報と社会	今村 成夫	情報社会とはどんな社会かを考察する
出版文化論	今村 成夫	『出版』の社会における意義と現状の理解
社会問題論	田中 俊之	「社会問題の社会学」について「男性問題」に焦点を当てて理解する
現代社会生活特講A (情報と社会)	伊奈 正人	グローバル化・情報化時代のメディアとコミュニティ
現代社会生活特講B (コミュニケーション論)	関根 里奈子	コミュニケーション 生活世界 メディア 文化 ジェンダー 社会学

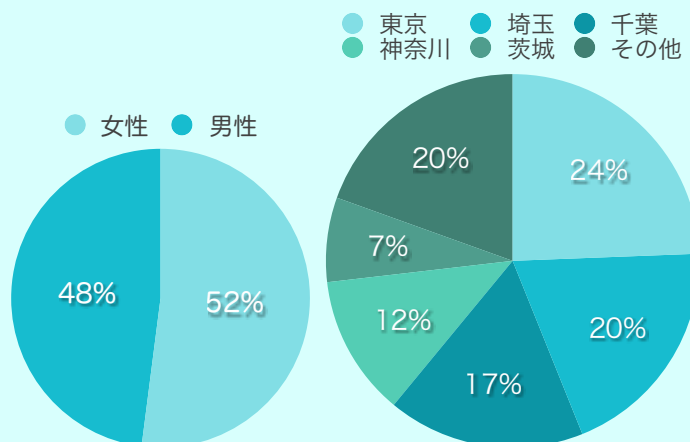
【人間科学科の学生—2021年度新入生へのアンケートから】

—人間科学科ではどのような方が学ばれているのですか？男性／東京都出身の方が多いのですか？—

人間科学科の学生の男女比は、入学年度によっても異なりますが、この数年間は男性よりも女性のほうが若干多くなっており、今年度の新入生は男性が48%なのに対して、女性は52%となっています。

また、人間科学科の学生の出身都道府県は、例年東京が一番多くなっていますが、過半数に達することはありません。今年度の新入生が受験時に在住していた都道府県は、東京24%・埼玉20%・千葉17%・神奈川12%・茨城7%・その他20%となっています。

そのため、人間科学科は、関東を中心に全国からさまざまな学生が集まるような学科になっていると言えます。



【人間科学科の志望動機は？】

—2021年度の新入生に大正大学の人間科学科を志望した理由を聞きました—

●人の感情や心、生物学的な体のづくり、人が形成している社会の仕組み、人がもつ共通の概念など、様々なことに興味や疑問を持つようになりました。もっと人間についていろいろな知識をつけたいと思って、人間科学科を選びました。人について理解することは、社会や自分について理解することにも繋がっていくと思います。（Mさん）

●感情心理学を学びたいと思いました。私たちは日々沢山のことを感じています。私の人生の行動の大半を感情が支配しているといっても過言ではありません。なぜここまで感情に左右されるのか、そもそも感情とは一体何か。このようなことを科学的に理解したいと考えました。卒業論文の論題の豊富さと面白さも魅力です。人間科学科は卒業論文のテーマにできる幅が広く、興味を持ったことならどのようなことでもテーマになりえると思いました。（Aさん）

●人間の心理を、その人を取り巻く環境や人間関係も含めた心理の変化といったような、社会学に近い観点から心理学を学びたいと考えていました。そんな中で見つけたのが、人間科学科でした。（Kさん）

●人間科学科を選んだ理由は「様々な視点から物事を学び考え、解決できる力を身に着けたい」と思ったからです。人間科学科は心理学・社会学・身体科学の3つの分野から物事や現代の課題などにアプローチしていくことができるため、充実した学びを受けることができました。（Yさん）

●中学生くらいから自分自身のことがわからなくて悩むことが多く、どうしたらポジティブに考えることができるかなどを模索していました。なぜ臨床心理学科に行かなかったかという、社会学にも興味が生まれてきたからです。大正大学には人間科学科があることを知って私にぴったりだと思いました。（Tさん）

【編集後記】

*『らいふみる』の2021年版の第2号（2021年6月12日発行）を発行いたしました。今回は主に人間科学科によくある質問についてご紹介いたしましたが、今後も『らいふみる』を通して人間科学科のことについていろいろご紹介していきたいと思いますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

*『らいふみる』は大正大学心理社会学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。また、人間科学科について詳しくは、下記のURLか右記のQRコードから学科のブログをご覧くださいと思います。（人間科学科ブログ：https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/）

